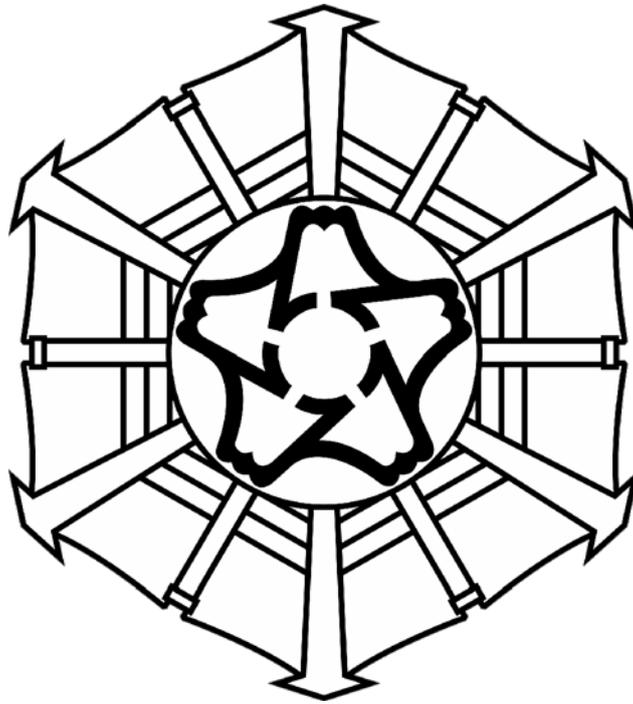


平成 26 年版  
消 防 年 報



裾野市消防本部

平成 27 年度刊行

## はしがき

この消防年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、あわせて裾野市の消防現勢と平成 26 年中における火災の実態や、消防救急活動の現状等消防関係者はもとより広く市民の方々に紹介し、消防行政に対するご理解、ご協力をいただくとともに防火思想の高揚を図ることを目的として作成しました。

平成 27 年 6 月

裾野市消防本部



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 市長賞

撮影者： 桂田 美恵子 氏

## 裾野市民憲章

わたくしたち裾野市民は麗峰富士のもと、その気高く美しい姿のように、人間性豊かな平和都市を理想としてこの憲章を定めます。

- 1 働くことに喜びを持ち明るく健康なまちをつくります。
- 1 思いやりの心で住みよいまちをつくります。
- 1 秩序をまもり平和で安全なまちをつくります。
- 1 恵まれた自然を大切に美しいまちをつくります。
- 1 伝統を生かし創造性をつちかい文化のまちをつくります。



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 市議会議長賞

撮影者： 内村 俊和 氏

# 目 次

は し が き  
裾野市民憲章

## 1 総 務

裾野消防のあゆみ	1
裾野市の位置・概要	4
消防庁舎、消防団詰所一覧	5
裾野市消防機構図	6
消防本部の事務分掌	7
消防職員人員配置、職員数年度別状況	9
消防職員年令別表、勤続年数別表	10
消防職員教育実施状況	11
消防職員資格取得状況	12
消防予算	13

## 2 警 防

消防本部・消防署車両一覧、現有消防水利状況	15
災害活動等の統計	16
無線電話設置状況	17
緊急消防援助隊概要・活動状況	18

## 3 予 防

防火対象物数	19
10年間の建築同意件数、火災予防条例届出件数	20
危険物許可施設数、数量別危険物許可施設	21
危険物関係申請・届出状況	22
危険物関係申請手数料状況、煙火消費許可件数・手数料状況	23
防火協力団体	24
裾野市防火標語	25

## 4 火災統計

火災状況	27
月別火災状況及び年別（過去10年）火災状況	28
曜日別・時間帯別出火件数、覚知方法別の出火件数	29
地区別の火災状況、過去5年間の出火原因状況	30

<b>5 救急統計</b>	
救急業務実施状況	3 1
救急の推移、署・所別の出場件数、現場到着所要時間の状況	3 2
月・曜日・時間帯別の出場状況	3 3
地区別の出場状況、東名高速道路出場状況	3 4
年齢区分及び傷病者程度別の搬送人員状況	3 5
住所別の搬送人員状況、収容医療機関別の搬送人員状況	3 6
病院収容所要時間の状況	
急病にかかる搬送人員の状況、救急隊員の行った応急処置の状況	3 7
心肺停止傷病者の状況及び救急救命士活動状況	3 8
ドクターヘリ要請状況、応急手当普及啓発活動状況	3 9
<b>6 救助統計</b>	
救助業務状況	4 1
救助事案発生の推移、東名高速道路における活動の推移	4 2
救助活動のための機械器具等整備状況	4 3
<b>7 通信・気象統計</b>	
消防指令センター受信状況	4 5
月別気象情報統計表	4 6
月別気象状況統計表	4 7
降雨状況	4 8
<b>8 消防団</b>	
分団別管轄区域・人口・世帯・団員数、階級別団員数	4 9
消防団員階級別年齢、消防団員階級別勤続年数	5 0
機械器具配置	5 1

# 1 総務



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 消防長賞

撮影者： 牧野 士郎 氏

## 裾野消防のあゆみ

裾野消防の発祥は、明治19年春東海道線線路が敷設され、開通後の煤煙による火災発生が予想されました。このために熟練精鋭の156名をもって私設消防組を結成したのが起源といわれています。

明治37年 5月24日	県消防組規則により、私設消防に代わり公設消防泉村消防組206名もって発足 各村に消防組発足
大正11年 4月21日	葛山中里に大火 各消防組消火作業に活躍
大正12年 9月1日	関東大震災 復旧作業に活躍
昭和5年 11月26日	伊豆大震災 救援復興作業に活躍
昭和9年 10月21日	本村消防組に初めて自動車ポンプを配備
昭和14年 2月27日	県令第4号警防団公布 消防組から警防団となる。
昭和23年 11月17日	法律第186号により警防団から消防団となる。
昭和27年 4月1日	泉村、小泉村合併 裾野町消防団265名となる。
昭和31年 11月1日	深良村合併 裾野町消防団に編入305名となる。
昭和33年 3月4日	富岡村、須山村合併 裾野町消防団に編入、6個分団22部327名となる。
〃 9月26日	狩野川台風 救援復興作業に活躍
昭和38年 4月1日	消防団再編成 6個分団178名となる。
昭和41年 3月7日	日本消防協会長より竿頭綬の表彰を受ける。
昭和46年 1月1日	市制施行により裾野市消防団となる。
〃 4月1日	政令指定により消防本部・消防署を設置 指令車、消防ポンプ自動車、救急車各1台、職員22名で発足
〃 12月24日	消防ポンプ自動車購入配備
昭和47年 2月1日	東名高速道路にて車両37台による追突事故 救急・消火活動にあたる。
昭和48年 9月13日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受け配備
昭和49年 6月26日	第5分団下和田班可搬ポンプ積載車購入配備
〃 9月18日	全国消防救助技術大会出場 5位入賞
昭和50年 2月24日	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受け配備
〃 7月16日	第6分団詰所増築
〃 10月14日	駿河信用金庫より指令車1台寄贈を受け配備
昭和51年 12月23日	第5分団今里班可搬ポンプ積載車購入配備
昭和53年 1月31日	第1分団車庫詰所を新築
昭和54年 7月16日	須山地先の化成品工場で大火災が発生し、全消防力を投入し消火活動にあたる。
〃 8月22日	静岡県消防団員小型ポンプ操法査閲大会出場 3位入賞
昭和54年 10月15日	第5分団車庫詰所を現在地に新築移転
10月15日	第5分団下和田班車庫詰所を現在地に新築移転
昭和55年 3月5日	消防庁長官より竿頭綬の表彰を受ける。
〃 8月29日	全国消防救助技術大会に出場 団体入賞
〃 9月4日	日本消防協会より救急車の寄贈を受け配備
〃 11月15日	第3分団車庫詰所を新築
〃 12月23日	軽四輪トラック（連絡車）2台を購入配備
昭和55年 12月25日	茶畑分遣所設置 消防車1台、職員8名で発足

昭和56年	1月24日	本署水槽付消防ポンプ自動車購入配備
	4月1日	消防本部・消防署開設10周年
	10月11日	10周年記念行事「消防展」開催
昭和57年	3月31日	本署通信指令室に一斉指令装置（C型）を設置
	4月1日	消防庁舎移転 鉄筋コンクリート造3階建 一部鉄骨造。延べ床面積930.67㎡、職員47名、水槽付消防ポンプ自動車2台、普通消防ポンプ自動車2台、救急車2台、指令車1台、広報車1台、その他車両3台
	9月20日	消防庁舎車庫完成落成式典
昭和58年	3月20日	裾野市消防団、日本消防協会長から優良消防団表彰旗を授与される。
	8月23日	静岡県消防団員訓練礼式査閲大会 3位入賞
	9月6日	救急車購入配備
	11月26日	日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け配備
昭和59年	2月5日	第2分団車庫詰所所在地に新築移転
昭和60年	4月17日	裾野市防火協会を設立
	12月5日	第6分団車庫詰所新築
昭和61年	2月10日	裾野市消防団、日本消防協会長から竿頭授の表彰を受ける。
	9月24日	第5分団今里班車庫詰所新築
昭和62年	3月4日	裾野市消防本部・裾野市消防団、消防庁長官から表彰旗を授与される。
昭和63年	2月29日	救急車1台増強整備
	3月29日	高速国道1号線（東名高速道）裾野インター供用開始に伴う消防・救急業務を開始
	4月1日	茶畑分遣所に救急車配備 救急業務を開始
平成元年	4月1日	消防団員2名増員し180名となる。
	11月28日	裾野市まとい会を設立
平成3年	4月1日	沼津市と人事交流を実施（平成3年から5年間継続）
平成4年	1月19日	裾野市防災のつどいを共催
	3月19日	通信指令室増築及び機器更新
	11月18日	本署、高規格救急車配備
	12月2日	本署、化学消防ポンプ自動車配備
平成6年	3月30日～31日	深良工業団地内プラスチック製品組み立て工場の倉庫で火災が発生し全消防力を投入し消火活動にあたる。
	11月22日	裾野消防はじめての救急救命士の誕生
	12月23日	第5分団下和田班車庫詰所新築
平成7年	2月10日	裾野市消防団、日本消防協会から竿頭授の表彰を受ける。
	3月31日	第6分団車庫詰所移転新築
	4月1日	消防団再編成 5個分団180名とする。
	8月4日	静岡県消防団員訓練礼式査閲大会優勝
	8月30日	西分団小南班可搬ポンプ積載車を配備
平成8年	3月17日	西分団小南班詰所を新設
	3月31日	深良分団車庫詰所を新築移転
	4月1日	消防団に女性団員10名が入団 総勢190名体制となる。
平成9年	8月22日	全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過入賞
	11月7日	日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成10年	4月1日	消防団員増員計画に基づき条例定数を190人から240人に改正
	8月28日	全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過・基本泳法入賞
平成11年	8月19日	全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん入賞
平成11年	8月30日	豪雨による市ノ瀬地先の土砂崩れの対応、警戒及び市内河川の警戒に消防署・消防団で対応

平成11年 10月 4日	(財) 日本消防協会から消防団女性消防に可搬ポンプ積載軽自動車、可搬ポンプ、野外煮炊釜セットの交付を受け配備
平成12年 3月24日	裾野ライオンズクラブから消防団指揮車(普通車)の寄贈を受け消防団本部に配備
〃 8月18日	全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん・基本泳法入賞
平成13年 1月13日	裾野市災害時消防活動支援隊を設立
〃 7月 6日	消防救助技術関東地区指導会出場 ロープ応用登はん優勝
平成14年 8月23日	全国消防救助技術大会出場 基本泳法入賞
〃 12月17日	消防庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建 延面積3,447.80㎡、訓練棟鉄骨造5階建 同306.95㎡
平成15年 3月27日	消防庁舎新築移転落成式典
〃 4月 1日	沼津市・三島市・駿東郡長泉町及び清水町と三市二町共同で消防指令センター運用開始
〃 11月22日	静岡県消防団員消防操法査閲大会ポンプ車操法の部 優勝
平成16年 1月21日	消防庁舎1階に防災体験ホール完成
〃 4月 1日	行政組織の改編に伴い、「課」を「室」に変更
〃 8月26日	全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん・基本泳法入賞
平成17年 8月25日	全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん・基本泳法入賞
平成18年 2月 1日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
平成19年 3月27日	(財) 日本消防協会より赤バイ3台の交付を受ける。
〃 4月 1日	平成19年度安全運転管理推進事業所の指定を受け各種事業推進を行う。
〃 11月 1日	消防庁舎に緊急地震速報受信装置を設置
〃 12月21日	茶畑分遣所仮眠室の個室化事業完成
平成20年 2月 7日	常備・非常備消防の緊急車両全車にドライブレコーダーを設置
〃 3月 1日	県防災航空隊へ職員派遣
〃 3月 2日	災害時支援用バイク9台を各分団詰所に配備
〃 5月30日	茶畑分遣所に緊急地震速報受信装置を設置
〃 7月31日	消防救助技術関東地区指導会出場 『ロープブリッジ救出』
平成21年 3月25日	消防指揮車を導入配備
〃 3月29日	東分団茶畑詰所新築移転
〃 10月22日	全国女性消防操法大会出場 準優勝
〃 12月 1日	須山分遣所新設 消防車・救急車・連絡車各1台、職員10名で発足
平成22年 2月24日	高規格救急車を増車 須山分遣所に配備
〃 2月28日	東分団平松詰所新築移転
平成23年 3月11日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊(消火部隊)を福島県に派遣(期間 平成23年3月11日から平成23年3月21日の第4次隊まで)
〃 3月26日	富岡分団詰所新築
〃 4月 1日	行政組織の改編に伴い、「室」を「課」に変更
平成24年 5月 8日	三島市、裾野市及び長泉町消防広域研究協議会(任意)設立
平成25年12月 8日～9日	深良工業団地内、建築用木製組立工場で火災が発生し全消防力を投入し消火活動にあたる。
平成26年 3月20日	三島市、裾野市及び長泉町消防指令センター庁舎完成(鉄骨造2階建て 延べ484㎡)
平成27年 3月13日	三島市、裾野市及び長泉町高機能消防指令センター設備完成
平成27年 4月 1日	三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会(法定協)設立

## 裾野市の位置・概要

裾野市は静岡県の東部に位置し、東は箱根山外輪山の分水嶺で神奈川県箱根町を境にし、西は愛鷹山の越前岳・呼子岳・位牌岳で富士市と、北は大野原（東富士演習場）で御殿場市に、南は愛鷹山及び箱根山のすそので三島市・長泉町を境としている。

東西 23.5 km、南北 21 km、標高 78m～2,169m、総面積 138.12 km<sup>2</sup>の地域である。

このうち可住地域は 35 km<sup>2</sup>（全体の 25%）で、その他は愛鷹山系 41 km<sup>2</sup>（同 30%）、箱根山系 40 km<sup>2</sup>（同 29%）、富士山系 10 km<sup>2</sup>（同 7%）の急峻な山岳地帯と比較的平坦な東富士演習場地域 12 km<sup>2</sup>（同 9%）に区分される。

人口は、53,078 人（男 27,020 人、女 26,058 人）、世帯数は 21,291 世帯である。

※ 人口については、住民基本台帳による平成 27 年 4 月 1 日現在の総人口



## 消防庁舎一覧

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

名称	所在地	構造	建築年月日	延べ面積
消防本部 消防署	裾野市石脇 515	鉄筋コンクリート造 3階建	平成 15 年 3 月 27 日	3,447.80 m <sup>2</sup>
茶畑分遣所	裾野市茶畑 850-3	鉄骨造 平屋建	昭和 55 年 12 月 18 日	196.83 m <sup>2</sup>
須山分遣所	裾野市須山 1545-8	鉄筋コンクリート造 平屋建	平成 21 年 11 月 30 日	414.19 m <sup>2</sup>

## 消防団詰所一覧

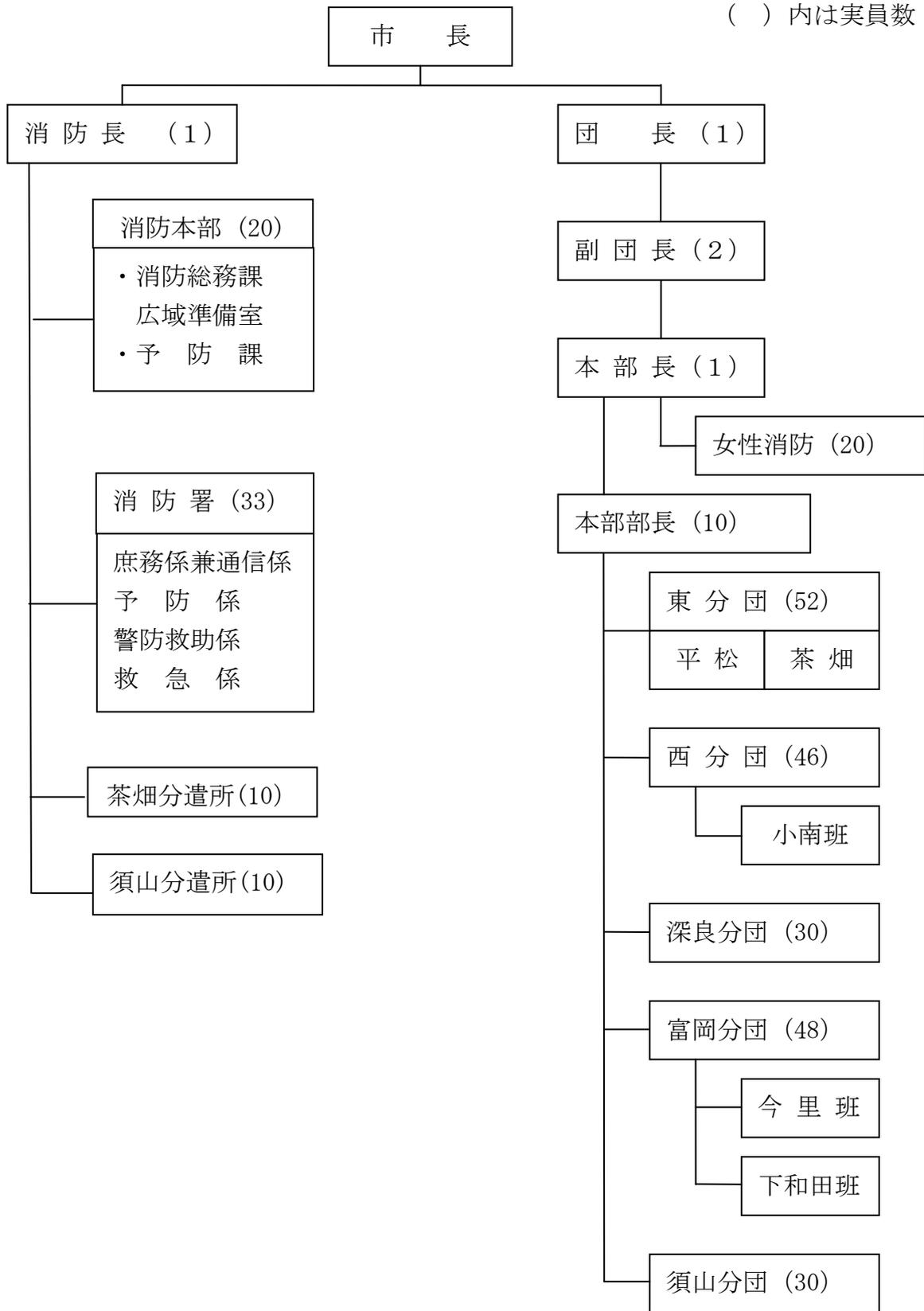
(平成 27 年 4 月 1 日現在)

名称	所在地	構造	建築年月日	延べ面積
東分団 平松詰所	裾野市平松 531-2	鉄骨造 2階建	平成 22 年 2 月 23 日	133.66 m <sup>2</sup>
東分団 茶畑詰所	裾野市茶畑 593-11	鉄骨造 2階建	平成 21 年 3 月 29 日	129.78 m <sup>2</sup>
西分団詰所	裾野市佐野 1438-4	鉄骨造 2階建	昭和 59 年 2 月 5 日 平成 19 年 1 月 31 日増築	96.30 m <sup>2</sup> 37.40 m <sup>2</sup>
西分団 小南班詰所	裾野市伊豆島田 839-2	鉄骨造 2階建	平成 8 年 3 月 17 日	74.88 m <sup>2</sup>
深良分団詰所	裾野市深良 659-3	鉄骨造 2階建	平成 8 年 3 月 31 日	124.32 m <sup>2</sup>
富岡分団詰所	裾野市御宿 614-1	鉄骨造 平屋建	平成 23 年 3 月 26 日	131.04 m <sup>2</sup>
富岡分団 今里班詰所	裾野市今里 806	木造 2階建	昭和 61 年 9 月 24 日	59.62 m <sup>2</sup>
富岡分団 下和田班詰所	裾野市下和田 1036-3	木造 2階建	平成 6 年 12 月 23 日	71.20 m <sup>2</sup>
須山分団詰所	裾野市須山 572-8	鉄骨造 2階建	平成 7 年 3 月 31 日	118.82 m <sup>2</sup>

# 裾野市消防機構図

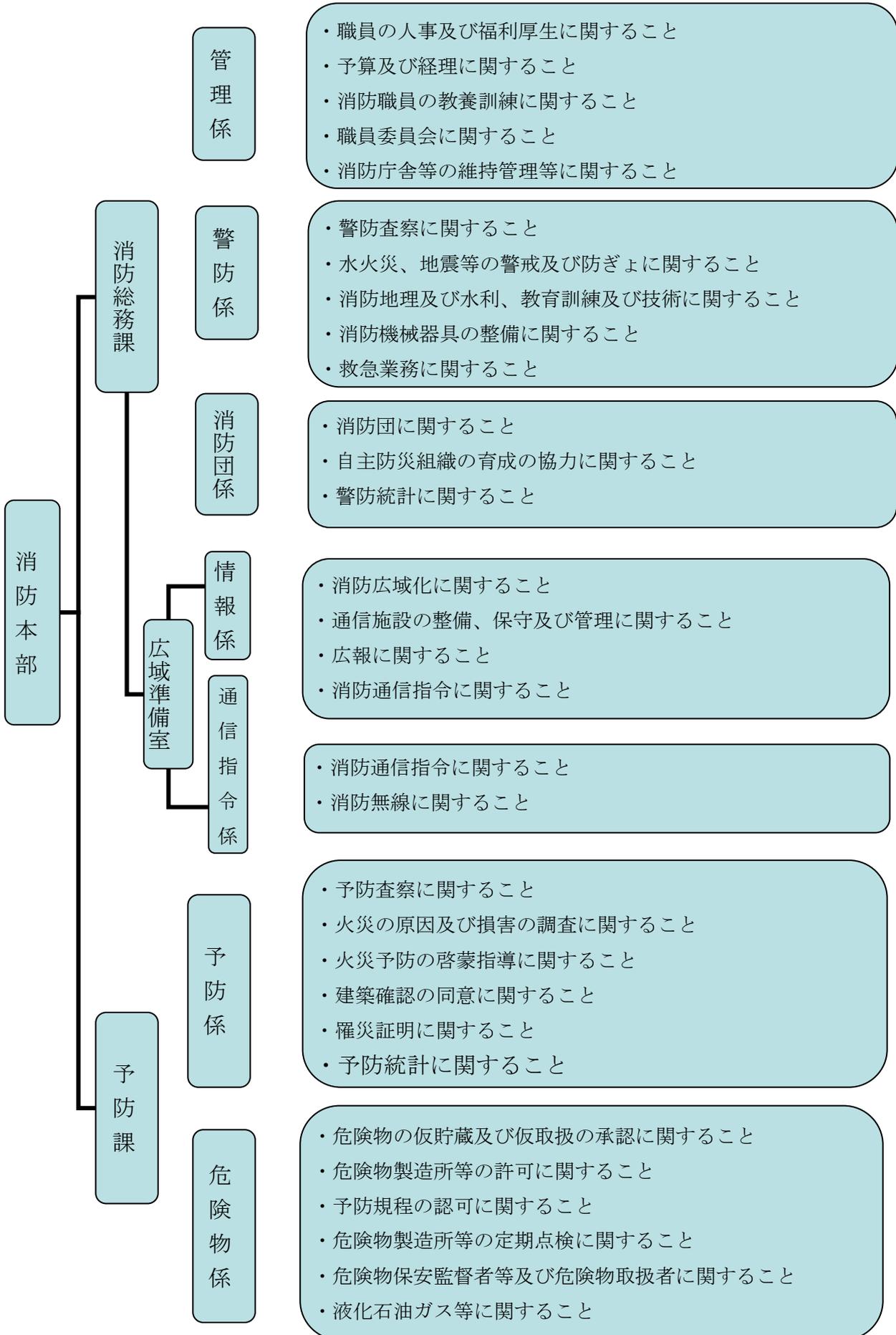
(平成 27 年 4 月 1 日)

( ) 内は実員数

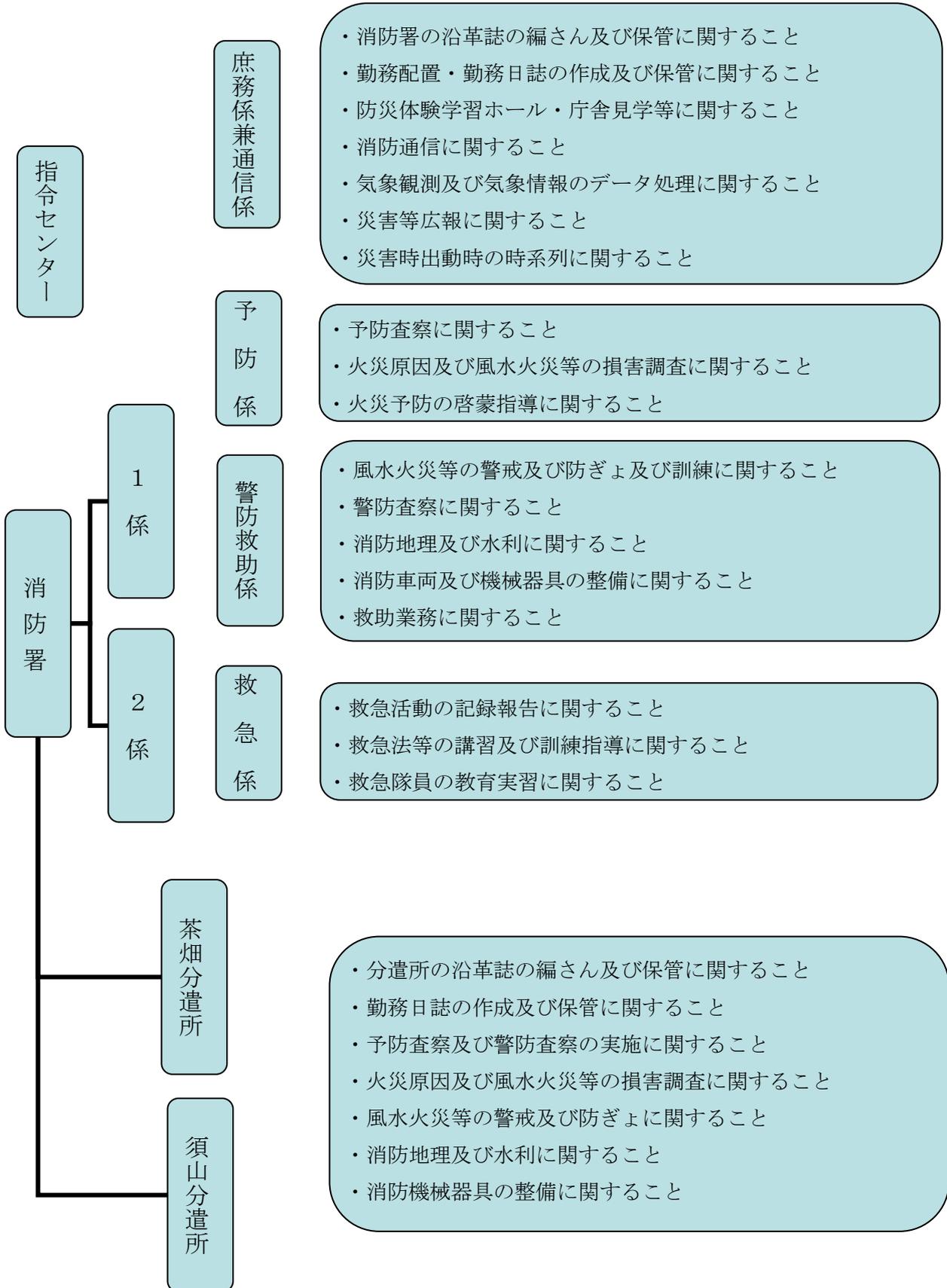


# 消防本部の事務分掌

(平成 27 年 4 月 1 日)



# 消防署の事務分掌

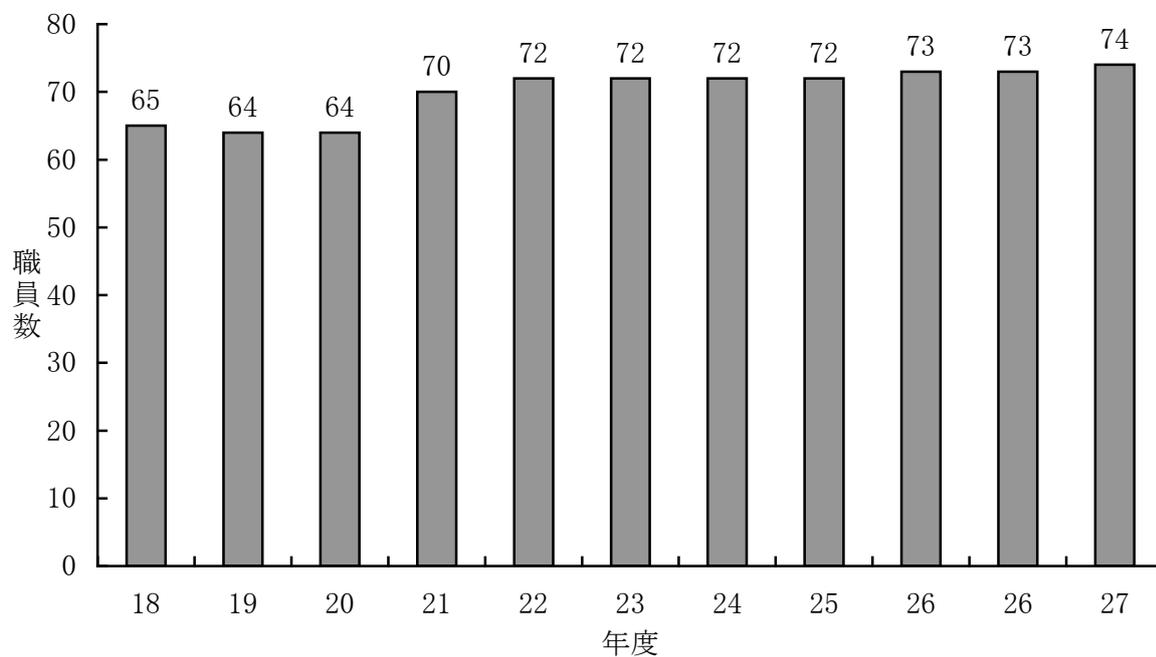


## 消防職員人員配置

(平成 27 年 4 月 1 日)

区分		階級 人数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
			消防本部	消防総務課	16	1	3	4
	予防課	5		1	2		2	
	小計	21	1	4	6	1	3	6
消防署	本署	33		6	11	6	4	6
	茶畑分遣所	10		2	2	2	4	
	須山分遣所	10		2	2	3	1	2
	小計	53		10	15	11	9	8
合計		74	1	14	21	12	12	14

## 消防職員数年度別状況



(各年 4 月 1 日現在)

## 消防職員年令別表

(平成 27 年 4 月 1 日)

階 級 区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		25 歳以下	11				
26 歳 ~ 30 歳	15				2	10	3
31 歳 ~ 35 歳	10				8	2	
36 歳 ~ 40 歳	4			2	2		
41 歳 ~ 45 歳	8			8			
46 歳 ~ 50 歳	11			11			
51 歳 ~ 55 歳	9		9				
56 歳以上	6	1	5				
人 数	74	1	14	21	12	12	14
平均年令	38.2	59.0	54.6	44.8	33	28.7	23.1

## 消防職員勤続年数別表

(平成 27 年 4 月 1 日)

階 級 区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		1 年未満	6	1			
~5 年未満	7		1				6
~10 年未満	17				3	11	3
~15 年未満	5				4	1	
~20 年未満	5			1	4		
~25 年未満	10			9	1		
~30 年未満	10			10			
30 年以上	14		13	1			
人 数		1	14	21	12	12	14

# 消防職員教育実施状況

(平成 26 年度中)

科	階級 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	平成 25 年度 以前
消防大学校	新任消防長 ・ 学校長科	1						6
	予防科			1				3
	救急科							1
	警防科							2
	救助科							2
	幹部科							4
	航空隊コース							1
静岡県消防学校ほか	初任科						2	99
	初級幹部科							5
	中級幹部科		1					9
	上級幹部科							6
	救急科						2	129
	予防査察科				1			34
	危険物科							11
	火災調査科			1				27
	警防科				1			4
	救助科（隊長科含）					1		26
	特殊災害科							3
	水難救助科							5
	薬剤投与追加講習							6
ビデオ口頭鏡講習				2			1	

# 消防職員資格取得状況

(平成 27 年 4 月 1 日)

科		階 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車 運転 免許	普通 1 種	10						10
	中型(中型限定を含む)	64	1	14	21	12	12	4
	大型 1 種	54		9	21	12	11	1
	大型特種	8		4	2		2	
	自動二輪	34		9	11	8	6	
危険物 取扱 者	甲種	6		4	1		1	
	乙種 第 1 類	1				1		
	〃 第 2 類	1					1	
	〃 第 3 類	1					1	
	〃 第 4 類	46		10	18	7	7	4
	〃 第 5 類	1					1	
	〃 第 6 類	1					1	
消防 設備 士	甲種 第 1 類	2		2				
	〃 第 2 類	2		2				
	〃 第 3 類	2		2				
	〃 第 4 類	6		4	1		1	
	〃 第 5 類	1		1				
	乙種 第 6 類	11		5	4	1	1	
	〃 第 7 類	3		2			1	
救急救命士		14		2	6	5	1	
特種無線技士		68		14	21	12	12	9
ガス溶接技能		55		13	21	12	9	
小型クレーン取扱技能		43		10	20	10	3	
玉掛け技能		40		8	18	10	4	
酸素欠乏・硫化水素 危険物作業主任者技能		42		12	20	7	3	
第 1 種電気工事士		1		1				
2 級建築士		1		1				
予防技術資格者 (消防用設備)		12		2	5	3	2	
予防技術資格者 (防火査察)		4		1	3			
予防技術資格者 (危険物)		11		2	7	1	1	

# 消防予算

## 一般会計当初予算

(単位：千円)

	平成 27 年度	平成 26 年度
裾野市一般会計予算額	20,205,000	19,610,000

## 消防費当初予算

(単位：千円)

		平成 27 年度	平成 26 年度	
消防 予算 額	総 額	1,087,802	858,008	
	内 訳	常備消防費	723,638	688,877
		非常備消防費	76,676	62,634
		消防施設費	287,488	106,497
一般会計予算に対する消防予算比率		5.4%	4.4%	

(単位：円)

	平成 27 年度	平成 26 年度
人口一人あたりの 消防予算額	20,494	16,013
一世帯あたりの 消防予算額	51,092	40,256





## 2 警 防



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 奨励賞

撮影者： 鈴木 智裕 氏

## 消防本部・消防署車両一覧

(平成27年4月1日)

	車名		年式	規格/級式	経過年数	登録番号		
本部	指揮車	トヨタ	H.21	—	7年1ヵ月	富士山	840 さ	53
	広報車	トヨタ	H.10	—	16年9ヵ月	沼津	830 す	119
	防火指導車	トヨタ	H.24	—	2年8ヵ月	富士山	303 そ	5069
消防署	消防1号車	日野	H.20	水Ⅱ/A-2	7年2ヵ月	沼津	800 は	544
	消防3号車	トヨタ	H.10	A-2	17年1ヵ月	沼津	88 す	2480
	消防化学車	三菱	H.4	Ⅱ型	22年4ヵ月	沼津	88 な	1701
	救助工作車	日野	H.9	Ⅱ型	17年5ヵ月	沼津	88 な	2122
	救急1号車	トヨタ	H.17	高規格	10年1ヵ月	沼津	830 す	99
	救急3号車	トヨタ	H.21	高規格	6年2ヵ月	富士山	840 さ	1193
	資機材搬送車	日野	H.27	—	2ヵ月	富士山	840 さ	71
	連絡車	スズキ	H.17	—	9年8ヵ月	沼津	880 あ	69
茶畑分遣所	消防4号車	日野	H.18	水Ⅰ/A-2	9年1ヵ月	沼津	800 す	299
	救急2号車	トヨタ	H.23	高規格	3年2ヵ月	富士山	840 さ	1192
	連絡車	三菱	H.11	—	15年5ヵ月	沼津	80 あ	793
須山分遣所	消防5号車	日野	H.15	A-2	12年1ヵ月	富士山	840 せ	5
	救急5号車	トヨタ	H.22	高規格	5年2ヵ月	富士山	840 さ	1195
	連絡車	スズキ	H.21	—	5年7ヵ月	富士山	881 あ	46

## 現有消防水利状況

(平成27年4月1日)

合計	消火栓	防火水槽				その他		
		計	100 m <sup>3</sup> 以上	40~100 m <sup>3</sup> 未満	20~40 m <sup>3</sup> 未満	計	プール	池・その他
1018	767	240	13	185	42	11	11	

# 災害活動等の統計

(平成26年)

区分	計	自火報 鳴動	危険物 漏洩	ガス 漏洩	他漏洩 危排除	誤報等	怪煙 確認	自然 災害	搜索	緊急 通報	救急隊 支援	その他	管外
月別													
1月	27	1				1	2				22		1
2月	35	7	1					3			23	1	
3月	22	1				1	2				18		
4月	15					2	2				11		
5月	29	2	1			4	3		1		17	1	
6月	28		2			1					23	2	
7月	29		1		3	1	4				19	1	
8月	27	1	2			2	2				20		
9月	31	1			2	1	6	1			20		
10月	36	1			7		1	3			23	1	
11月	24	1	1			3	1	1			16		1
12月	31	1	2				5				23		
合計	334	16	10		12	16	28	8	1		235	6	2
地区別													
東地区	68		3		2	2	1	4			56		
西地区	112	11	2		3	5	5	2			83	1	
深良地区	42		1		1	1	4	0			34	1	
富岡地区	73	4	3		2	7	14	2			37	4	
須山地区	27	1	1		4	1	4		1		15		
東名高速道路	10										10		
その他	2												2
合計	334	16	10		12	16	28	8	1		235	6	2
覚知方法別													
119 (NTT以外)	57	1				3	2	1			50		
119 (NTT)	66		4			2	1	1			58		
119 (携帯)	96	3	4			1	10	1			74	3	
加入電話	40	12	2			1	8				15	2	
加入携帯	6				1			2			2	1	
警察電話	1										1		
駆け付け													
事後聞知													
その他	68				11	9	7	3	1		35		2
合計	334	16	10		12	16	28	8	1		235	6	2

## 無線電話設置状況

(平成27年4月1日)

所属	車別/局別	呼出名称	出力W	積 載 波				
				市波	県波	全 国 波		
						①	②	③
本 部	基地局	すそのしょうぼう	10W	○	○	○	○	○
	指揮車	すその53	10W	○	○	○	○	○
	広報車	すその61	10W	○	○	○	○	○
	防火指導車	すその72	10W	○	○	○	○	○
	携帯局	すその104	5W	○	○	○	○	○
すその105		5W	○	○	○	○	○	
本 署	消防1号車	すその1	10W	○	○	○	○	○
	消防3号車	すその3	10W	○	○	○	○	○
	化学車	すその6	10W	○	○	○	○	○
	救助工作車	すその41	10W	○	○	○	○	○
	救急1号車	きゅうきゅうすその1	10W	○	○	○	○	○
	救急3号車	きゅうきゅうすその3	10W	○	○	○	○	○
	作業車	すその71	10W	○	○	○	○	○
	連絡車	すその2	10W	○	○	○	○	○
	携帯局	すその51	10W	○	○	○	○	○
		すその54	10W	○	○	○	○	○
		すその101	5W	○	○	○	○	○
		すその102	5W	○	○	○	○	○
		すその107	5W	○	○	○	○	○
		すその108	5W	○	○	○	○	○
		すその110	5W	○	○	○	○	○
		すその111	5W	○	○	○	○	○
		すその115	5W	○	○	○	○	○
		すその116	1W	○	○	○	○	○
		すその119	5W	○	○	○	○	○
		すその120	5W	○	○	○	○	○
すその121		1W	○	○	○	○	○	
すその122	1W	○	○	○	○	○		
茶 畑 分 遣 所	消防4号車	すその4	10W	○	○	○	○	○
	救急2号車	きゅうきゅうすその2	10W	○	○	○	○	○
	連絡車	すその52	10W	○	○	○	○	○
	携帯局	すその103	5W	○	○	○	○	○
		すその112	5W	○	○	○	○	○
		すその113	5W	○	○	○	○	○
		すその114	5W	○	○	○	○	○
須 山 分 遣 所	消防5号車	すその5	10W	○	○	○	○	○
	救急5号車	きゅうきゅうすその5	10W	○	○	○	○	○
	携帯局	すその106	5W	○	○	○	○	○
		すその109	5W	○	○	○	○	○
		すその117	5W	○	○	○	○	○
すその118		5W	○	○	○	○	○	

## 緊急消防援助隊概要

緊急消防援助隊は、平成7年(1995年)1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設された。

この緊急消防援助隊は、いったん、我が国のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、全国から当該災害に対応できるだけの消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムである。

裾野市においても、消火部隊、救急部隊、後方支援部隊の3隊を登録している。(平成27年4月1日現在)

### 東日本大震災における緊急消防援助隊の活動状況

年	活動期間	災害名	出動部隊・人員	活動概要
23	3.11～3.21 (11日間)	東日本大震災	延べ 20台 延べ 66人	福島県いわき市・福島市・相馬市における、津波被害による行方不明者捜索活動

### 緊急消防援助隊の活動状況(詳細)

派遣	活動期間	出動部隊・人員	活動概要
第1次	3.11～3.15 (現地活動3日間)	消火隊1隊5名 後方支援隊1隊3名 延べ 6台(2台×3日間) 延べ 24名(8名×3日間)	福島県いわき市平豊間地区における、津波による倒壊家屋からの救出活動
第2次	3.14～3.18 (現地活動3日間)	消火隊1隊4名 後方支援隊1隊2名 延べ 6台(2台×3日間) 延べ 18名(6名×3日間)	福島県相馬市磯辺地区における、津波被害による行方不明者捜索活動
第3次	3.17～3.21 (現地活動3日間)	消火隊1隊4名 後方支援隊1隊2名 延べ 6台(2台×3日間) 延べ 18名(6名×3日間)	福島県相馬市磯辺地区における、津波被害による行方不明者捜索活動
第4次	3.20～3.21 (現地活動1日間)	消火隊1隊4名 後方支援隊1隊2名 延べ 2台(2台×1日間) 延べ 6名(6名×1日間)	福島県福島市福島県消防学校に待機後、静岡県隊縮小命令に伴い、部隊撤収

# 3 予 防



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 防火協会長賞

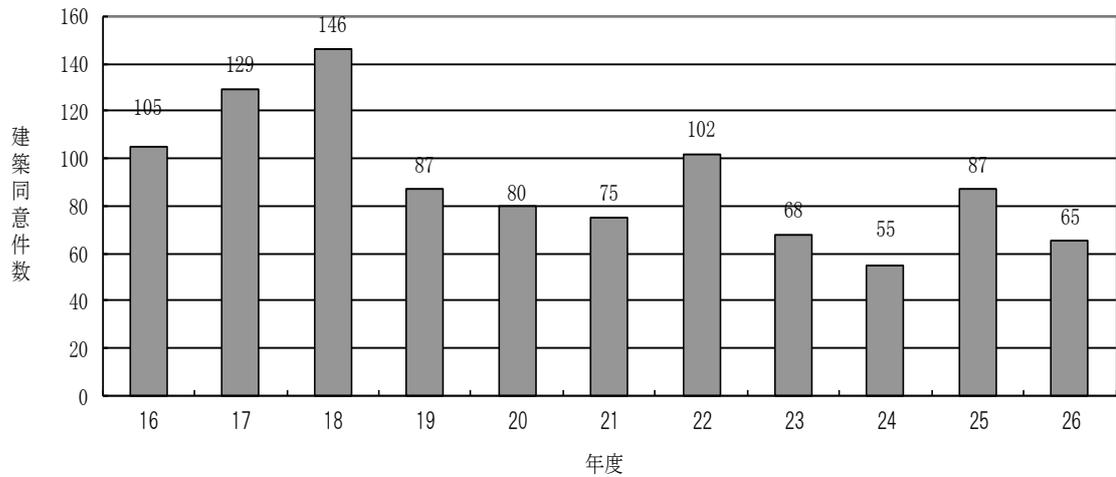
撮影者： 鈴木 剛祥 氏

# 防火対象物数

(平成 27 年 4 月 1 日)

項目	区分	防火対象物数	防火対象物 定期点検報 告対象物	防火管理 (令 2 条適用含まず)			立入査察 実施数 (H26 年度)
				要する 対象物	防火管理	消防計画	
1	イ	劇場、映画館	3	2	2	2	2
	ロ	公会堂、集会場	57	3	56	43	42
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ					
	ロ	遊技場、ダンスホール	13	3	8	8	8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1	1
3	イ	待合、料理店					
	ロ	飲食店	42		24	18	17
4		百貨店、マーケット	73	8	52	38	39
5	イ	旅館、ホテル	30	3	8	8	7
	ロ	寄宿舍、共同住宅	615		46	32	25
6	イ	病院、診療所、助産所	25	2	11	11	11
	ロ	老人短期入所施設等	14		14	14	14
	ハ	老人デイサービスセンター等	22		16	16	15
	ニ	幼稚園、特別支援学校	9		9	9	9
7		学校、各種学校	62		20	17	18
8		図書館、博物館、美術館	1		1	1	1
9	イ	蒸気・熱気等浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場	1		1	1	1
10		車両等の停車場	2				1
11		神社、寺院、教会	16		7	4	3
12	イ	工場又は作業場	348		30	29	28
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	自動車車庫又は駐車場	14				2
	ロ	飛行機等の格納庫	1				
14		倉庫	123		4	4	4
15		前各項に該当しない事業場	181		30	25	25
16	イ	特定複合用途防火対象物	164	8	61	48	45
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	97		11	9	7
17		重要文化財	1				
合 計			1915	29	412	338	322

## 10年間の建築同意数



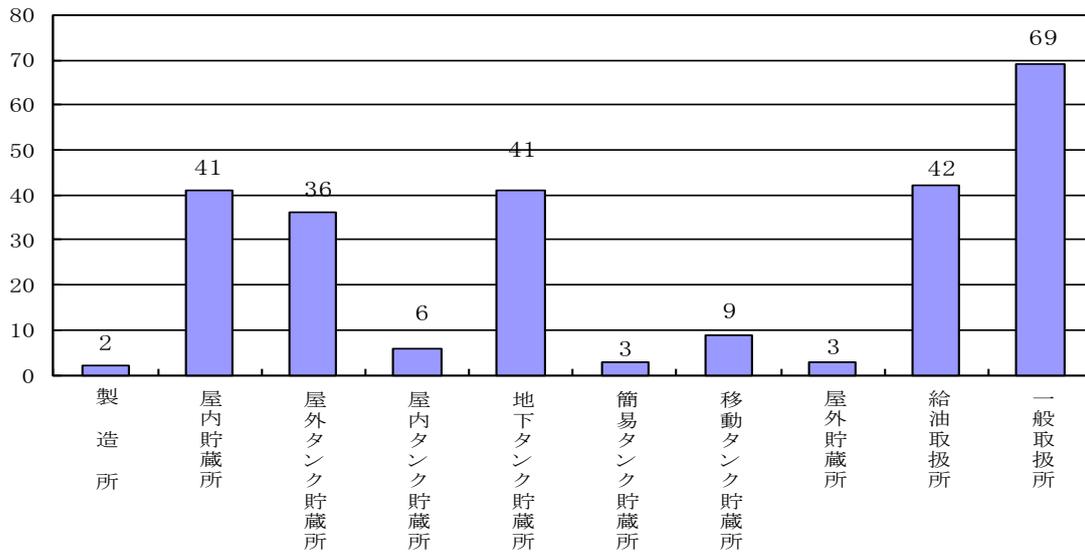
## 火災予防条例等届出件数

(平成26年度)

届出別	月 別												
	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
禁止行為解除	10	2	1			1		1		1		1	3
防火対象物使用開始	34	4	3	4	2	3	8		2		2	2	4
炉の設置	6	2		1	2								1
温風暖房機設置	0												
ボイラー設置	4			1				1	1	1			
乾燥設備設置	5		1		1	1			1	1			
発電設備	1						1						
変電設備	11	1		2		5				1	1	1	
蓄電池設備	7		2	1					1		1	1	1
火災とまぎらわしい等	113	9	5	3	5	4	8	15	17	20	8	8	11
煙火打ち上げ	100	3	6	9	8	17	18	13	4	7	4	3	8
水道断水減水	14	1			1	1		3	2	2	2	1	1
道路工事	133	6	9	7	12	13	16	14	13	12	6	11	14
少量危険物	20	1	2	1	3	2	3		2	1	3	2	
指定可燃物	6		3					1					2
廃止関係	20	13					1	3			1	1	1
消防訓練	173	23	16	8	6	20	14	22	21	14	9	8	12
圧縮アセチレン等	19		2		1	3	4	3	1			4	1
合 計	676	65	50	37	41	70	73	76	65	60	37	43	59

## 危険物許可施設数

(平成 27 年 4 月 1 日)



## 数量別危険物許可施設

(平成 27 年 4 月 1 日)

製造所等の別 指定数量の区分		製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般
合 計	252	2	41	36	6	41	3	9	3	42				69
5 倍以下	100		20	18	5	15	2	8	2	2				28
5 倍を超え 10 倍以下	56	1	11	7	1	8	1		1	5				21
10 " 50 "	58		8	6		12				21				11
50 " 100 "	22	1	1	5		4		1		3				7
100 " 150 "	2					1				1				
150 " 200 "	5		1			1				3				
200 " 1,000 "	8									7				1
1,000 " 5,000 "	1													1

# 危険物関係申請・届出状況

(平成 26 年度)

種 別 製造所等		許 可		完 成		仮 使 用 承 認	検 査		品名・数量変更届出	譲 渡 引 渡 届 出	廃 止 届 出	保安監督者選解任届出
		設 置	変 更	設 置	変 更		水 張	水 圧				
合 計	224	2	59	2	58	56	2	2	9	3	3	28
製 造 所	2		1			1						
貯 蔵 所	屋 内	19	1	1	1	1			3		1	10
	屋外タンク	4									1	3
	屋内タンク	3	1		1							1
	地下タンク	6		1		1				1	1	1
	簡易タンク	1										1
	移動タンク											
	屋 外	1							1			
取 扱 所	給 油	18		5		3	4		1	1	2	2
	第 1 種販売											
	第 2 種販売											
	移 送											
	一 般	167		51		53	49		4			10
少量危険物タンク	3						2	1				

## 危険物関係申請手数料状況

(平成 26 年度)

手数料単位：千円

区分	総計	危険物許可・完成検査・完成検査前検査手数料						仮使用等手数料	
		許可		完成		完成検査前検査		仮貯蔵 仮取扱	仮使用
		設置	変更	設置	変更	水張	水圧		
件数	184	2	59	2	58	2	2	3	56
手数料	2,708	52	1,530	26	758	12	12	16	302

## 煙火消費許可件数・手数料状況

(平成 26 年度)

月	件数	消費数量 (発)		手数料 (円)
		スターマイン等	単発玉	
4				
5				
6	1	3	65	7,900
7	6	23	110	47,400
8	2	12	195	15,800
9	2	1	44	15,800
10	1		30	7,900
11				
12	3	7	83	23,700
1				
2				
3	1		45	7,900
計	16	46	572	126,400

## 防火協力団体

名 称	<b>裾野市防火協会</b>
事務局	裾野市石脇 5 1 5 裾野市消防本部予防課内 電話 055-992-3212
組 織	会長、副会長 2 名、理事 13 名、会計 1 名、監事 2 名
会員数	2 2 5 事業所 (平成 2 7 年度)
名 称	<b>裾野市まとい会</b>
事務局	裾野市石脇 5 1 5 裾野市消防本部消防総務課内 電話 055-995-1193
組 織	会長、副会長 3 名、幹事 2 名、地区役員 6 名、会計 1 名、監査 2 名
会員数	9 9 名 (平成 2 6 年度)
名 称	<b>裾野市災害時消防活動支援隊</b>
事務局	裾野市石脇 5 1 5 裾野市消防本部消防総務課内 電話 055-995-1193
組 織	隊長、地区隊長 4 名、区班長 10 名
隊員数	1 0 3 名 (平成 2 6 年度)
名 称	<b>裾野市幼年消防クラブ連絡協議会</b>
事務局	裾野市石脇 5 1 5 裾野市消防本部予防課内 電話 055-992-3211
組 織	6 団体 (3 幼稚園・3 保育園 計 3 3 9 名) (平成 2 7 年度)
目 的	幼児期から火に対する正しいしつけを身につけさせ、幼児の家庭から火災の絶滅を図るとともに、将来人命を尊重し財産の保全を図る社会人としての素地を涵養させ防火意識の高揚を図る。
構成園	学校法人光耀学園 裾野ひかり幼稚園 クラブ員 7 8 名 (平成 5 年 7 月 6 日結成) 学校法人光耀学園 千福が丘ひかり幼稚園 クラブ員 5 7 名 (平成 5 年 7 月 6 日結成) 社会福祉法人富岳会 富岳南保育園 クラブ員 5 0 名 (平成 9 年 5 月 8 日結成) 社会福祉法人桜愛会 さくら保育園 クラブ員 5 5 名 (平成 9 年 5 月 12 日結成) 社会福祉法人富岳会 富岳台保育園 クラブ員 3 3 名 (平成 9 年 5 月 14 日結成) 学校法人静岡聖母学園 裾野聖母幼稚園 クラブ員 6 6 名 (平成 10 年 4 月 13 日結成)

## 裾野市防火標語

(裾野市防火協会)

平成 5年度	火の始末 使ったあなたが 責任者
平成 6年度	火災予防 何時でも 何処でも あなたが主役
平成 7年度	身に付けよう 火事の怖さと 消火の知識
平成 8年度	火の始末 つけたあなたが 責任者
平成 9年度	火の始末 「はず」と「つもり」は赤信号
平成10年度	最後まで 他人にまかすな 火の始末
平成11年度	火の始末 暮らしの中の 第一歩
平成12年度	あとしまつ あなたが最後の 火の番人
平成13年度	小さな火 あなたのゆだんで 大きな火
平成14年度	めざそうよ 火事のない町 裾野市を。
平成15年度	火の用心 火の元用心 日々用心
平成16年度	だれかより 私が消します 火の用心
平成17年度	小さな火 あっと言うまに 悪魔の火
平成18年度	たのむより すすんでやろう 火のしまつ
平成19年度	火のもとを しっかりかくにん 何度でも。
平成20年度	火の始末 その日その手で 再確認
平成21年度	火災ゼロ 地域ぐるみの 防火の輪
平成22年度	ちゃんと見て 寝る前、 出る前 火の始末
平成23年度	地域の輪 みんなの注意で 火事予防
平成24年度	消したかな？ 心配するなら 再確認
平成25年度	寝る前に 火の元確認 もう一度
平成26年度	地域から 未来へつなぐ 防火の輪
平成27年度	火の用心 みんなが町の 消防隊



## 4 火災統計



平成 27 年消防出初式写真コンテスト 奨励賞

撮影者： 勝又 和一 氏

## 火災の状況

平成26年中における火災の概要をみると、火災件数は14件で前年に比べ4件減少しています。

損害額は88,624千円で77,707千円の大幅減となっています。

また火災による死者はいませんが、負傷者は3名の増加となりました。

区分		平成26年	平成25年	前年比較	
				増減	増減率
出火件数	建物火災	4	9	-5	-56%
	林野火災	0	0	0	—
	車両火災	7	2	5	250%
	その他の火災	3	7	-4	-57%
	爆発(内数)	(1)	(0)	(1)	—
	計(件)	14	18	-4	-22%
出火率(件/万人)		2.6	3.3	-0.7	-21%
建物焼損棟数	全焼	0	3	-3	-100%
	半焼	0	1	-1	-100%
	部分焼	2	1	1	100%
	ぼや	2	4	-2	-50%
	計(棟)	4	9	-5	-56%
建物焼損	床面積	54	2,226	-2,172	-98%
	表面積	1	0	1	—
	計(m <sup>2</sup> )	55	2,226	-2,171	-98%
林野焼損面積(a)		0	0	0	—
死傷者	死者	0	0	0	—
	負傷者	4	1	3	300%
	計(人)	4	1	3	300%
り災	世帯(世帯)	4	5	-1	-20%
	人員(人)	11	19	-8	-42%
損害額	建物火災	3,964	165,272	-161,308	-98%
	林野火災	0	0	0	—
	車両火災	84,460	226	84,234	37,272%
	その他の火災	200	833	-633	-76%
	爆発	0	0	0	—
	計(千円)	88,624	166,331	-77,707	-47%
1件あたり	建物焼損面積(m <sup>2</sup> )	14	247	-233	94%
	林野焼損面積(a)	0	0	0	—
	損害額(千円)	6,330	9,240	-2,910	-31%



## 曜日別及び時間帯別の出火件数

時間／曜日	建物	林野	車両	その他	爆発 (内数)	合計	割合
月	1		3			4	28.6%
火			1	1		2	14.3%
水	2					2	14.3%
木			1			1	7.1%
金	1			1	(1)	2	14.3%
土				1		1	7.1%
日			2			2	14.3%
不明						0	0.0%
合計	4	0	7	3	(1)	14	100%
0～2			1			1	7.1%
2～4						0	0.0%
4～6			1			1	7.1%
6～8						0	0.0%
8～10	2					2	14.3%
10～12	1		1			2	14.3%
12～14						0	0.0%
14～16				1		1	7.1%
16～18			1			1	7.1%
18～20			1			1	7.1%
20～22	1		2	1	(1)	4	28.6%
22～24				1		1	7.1%
不明						0	0.0%

## 覚知方法別出火件数

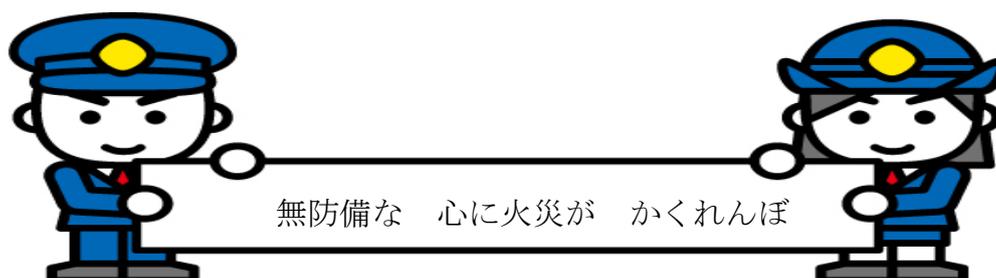
区分		建物	林野	車両	その他	爆発 (内数)	計	割合
119番 電話	NTT加入以外				1		1	7.1%
	NTT加入				1		1	7.1%
	携帯電話	3		2			5	35.7%
加入 電話	固定電話			1			1	7.1%
	携帯電話			1			1	7.1%
警察電話		1					1	7.1%
駆付通報							0	0.0%
事後聞知					1	(1)	1	7.1%
その他				3			3	21.4%
計		4	0	7	3	(1)	14	

## 地区別の火災の状況

地区	出火件数 (件)						出火率	焼損面積 (m <sup>2</sup> ・a)			損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	その他	爆発 (内数)		建物焼損床面積	建物焼損表面積	林野	
東地区	1			1			2.6				150
西地区	2	1			1			1			322
深良地区	2	2						53			3,592
富岡地区	2			1	1						1,678
須山地区	3	1		1	1	(1)			1		460
東名高速道路	1			1							400
新東名高速道路	3			3							82,022
計	14	4	0	7	3	(1)		54	1	0	88,624

## 過去5年間の上位出火原因

26年		25年		24年		23年		22年	
出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数
たばこ	3	たき火	4	排気管	4	放火	4	焼却の残り火・不始末	2
放火	2	たばこ	2	煙突	1	たき火	3	電灯・電話等の配線	2
こんろ	1	焼却炉	1	こんろ	1	排気管	2	こんろ	1
焼却炉	1	配線器具	1	取灰	1	たばこ	1	たばこ	1
衝突により発火	1	溶接機・溶断機	1	ボイラー	1	こんろ	1	/	
/	/	/	/	たき火	1	マッチ・ライター	1		
				かまどの火の粉	1	放火の疑い	1		
				暖炉	1				
その他	5	その他	4	その他	1	その他	5	その他	8
不明・調査中	1	不明・調査中	5	不明・調査中	1	不明・調査中	1	不明・調査中	3
合計	14	合計	18	合計	13	合計	19	合計	17



## 5 救急統計



平成 27 年消防出初式写真コンテスト 奨励賞

撮影者： 原 久子 氏

## 救急業務実施状況

平成 26 年中の救急業務の実施状況は、出動件数が 1,947 件で前年に比べて 72 件の減少、搬送人員は 1,800 人で前年に比べて 93 人の減少となっています。また、出動件数の事故種別は急病 1,067 件で全体の半分以上を占め、次いで転院搬送 341 件、一般負傷 265 件、交通事故 156 件の順となっています。

		平成 25 年				平成 26 年				前年比	
		件数	構成比	人員	構成比	件数	構成比	人員	構成比	件数	人員
事故種別	急病	1,073	53.1%	990	52.3%	1,067	54.8%	984	54.7%	-6	-6
	交通	197	9.8%	209	11.0%	156	8.0%	151	8.4%	-41	-58
	一般	255	12.6%	245	12.9%	265	13.6%	243	13.5%	+10	-2
	転院	363	18.0%	362	19.1%	341	17.5%	338	18.8%	-22	-24
	その他	131	6.5%	87	4.6%	118	6.1%	84	4.7%	-13	-3
	合計	2,019		1,893		1,947		1,800		-72	-93
署所別	本署	1,003	49.7%	934	49.3%	942	48.4%	867	48.2%	-61	-67
	茶畑	703	34.8%	671	35.5%	724	37.2%	678	37.7%	+21	+7
	須山	313	15.5%	288	15.2%	281	14.4%	255	14.1%	-32	-33
程度別	軽症			874	46.1%			789	43.8%		-85
	中等症			800	42.3%			789	43.8%		-11
	重症			189	10.0%			191	10.6%		+2
	死亡			30	1.6%			31	1.7%		+1
年齢区分	新生児			0	0.0%			2	0.1%		+2
	乳幼児			106	5.6%			97	5.4%		-9
	少年			73	3.9%			69	3.8%		-4
	成人			759	40.1%			687	38.2%		-72
	老人			955	50.4%			945	52.5%		-10
収容先	市内			728	38.5%			594	33.0%		-88
	市外			1,165	61.5%			1,206	67.0%		-5
所要時間	現場到着	平均 7 分 55 秒				平均 7 分 54 秒				1 秒減少	
	医師引継	平均 40 分 00 秒				平均 41 分 03 秒				1 分 03 秒増加	
応急処置		1,893 人に対し 8,869 件を実施				1,800 人に対し 8,583 件を実施					
救急救命処置		37 人に対し 68 件を実施				33 人に対し 50 件を実施					
ドクヘリ要請件数		24 件				28 件				4 件増加	
備考		市内で 1 日平均 5.3 件、市民 29.6 人に 1 人が搬送されたこととなります。 (裾野市人口：2015/1/1 現在)									

(本統計の割合は小数点第 2 位を四捨五入)

## 救急の推移

救急出動件数は1,947件で昨年より72件減少しました。事故種別で見ますと、急病が平成22年から1,000件を超え出動件数の約半分以上を占めています。

	合 計		急 病		交 通		一 般		転 院		その他	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成22年	1,859	1,721	1,018	922	202	211	222	203	325	324	92	61
平成23年	1,967	1,818	1,063	984	189	190	231	206	340	338	144	100
平成24年	1,963	1,820	1,057	979	190	195	250	235	338	338	128	73
平成25年	2,019	1,893	1,073	990	197	209	255	245	363	362	131	87
平成26年	1,947	1,800	1,067	984	156	151	265	243	341	338	118	84

## 署・所別の出場件数

署・所別の出動件数をみますと、本署942件(48.4%)、茶畑724件(37.2%)、須山281件(14.4%)となっています。

	合 計	急 病	交 通	一 般	転 院	その他
本 署	942	522	85	108	170	57
茶 畑	724	404	48	92	158	22
須 山	281	141	23	65	13	39
合 計	1,947	1,067	156	265	341	118

## 現場到着所要時間の状況

現場到着所要時間(119番通報から現場に到着するまでに要した時間)の出動件数をみますと、5分から10分未満の1,433件(73.6%)が最多です。平均現場到着所要時間は7分54秒となり前年に比べ1秒減少となっています。

現場到着所要時間	出動件数
3分未満	16
3～5分未満	145
5～10分未満	1,433
10～20分未満	287
20分以上	66

## 月・曜日・時間帯別の出場状況

月別の出動件数は、12月の202件が最多、曜日別の出動件数は、月曜日の297件が最多となっています。また、時間帯別の出動件数は、10時から12時の262件が最多となっています。

	合計	急病	交通	一般	転院	その他
1月	188	109	10	20	44	5
2月	149	82	13	15	27	12
3月	150	78	15	29	23	5
4月	130	73	5	20	26	6
5月	147	75	9	24	23	16
6月	145	80	14	18	17	16
7月	158	84	15	15	35	9
8月	170	97	17	24	25	7
9月	186	111	18	22	25	10
10月	166	83	14	28	27	14
11月	156	84	12	24	24	12
12月	202	111	14	26	45	6
合計	1,947	1,067	156	265	341	118

	合計	急病	交通	一般	転院	その他
月曜日	297	165	18	38	58	18
火曜日	289	167	25	35	44	18
水曜日	279	143	26	32	63	15
木曜日	240	143	12	29	45	11
金曜日	278	154	16	32	55	21
土曜日	291	153	29	44	46	19
日曜日	273	142	30	55	30	16
合計	1,947	1,067	156	265	341	118

	合計	急病	交通	一般	転院	その他
0時～2時	69	47	5	13	3	1
2時～4時	63	39	7	10	3	4
4時～6時	77	59	6	8		4
6時～8時	131	94	10	17	3	7
8時～10時	232	140	21	27	37	7
10時～12時	262	116	13	36	75	22
12時～14時	252	116	25	32	53	26
14時～16時	226	104	22	26	59	15
16時～18時	185	85	19	25	45	11
18時～20時	179	103	11	23	35	7
20時～22時	172	101	12	35	18	6
22時～24時	99	63	5	13	10	8
合計	1,947	1,067	156	265	341	118

## 地区別の出場状況

地区別の出動件数は、西地区 691 件が最多で、続いて東地区 451 件、富岡地区 410 件、深良地区 205 件、須山地区 165 件、東名高速 19 件、管轄外 6 件となっています。

	急病	交通	一般	転院	その他	合計
西	325	32	66	246	22	691
東	285	42	71	41	12	451
深良	112	23	26	25	19	205
富岡	249	31	49	28	53	410
須山	88	12	52	1	12	165
東名	6	12	1			19
管外	2	4				6
合計	1,067	156	265	341	118	1,947

## 東名高速道路出場状況

東名高速道路は 19 件出動し、17 人を搬送しました。また、行政区域別出動件数は、御殿場市 8 件、裾野市 7 件、長泉町 4 件、沼津市 0 件、となっています。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上り	件数	1	1	3					1			2		8
	人員	1	1	3					1			2		8
下り	件数	2				2	1	3		1	1	1		11
	人員	1				2	1	3		1	1	1		9
合計	件数	3	1	3		2	1	3	1	1	1	3		19
	人員	2	1	3		2	1	3	1		1	3		17

行政区	沼津市	長泉町	裾野市		御殿場市	合計
上り					8	8
沼津 IC (103. 2kp)		裾野 IC (93. 7kp)		御殿場 IC (83. 6kp)		
下り		4	5	2		11

## 年齢区分及び傷病者程度別の搬送人員状況

搬送人員の年齢区分は、新生児2人(0.1%)、乳幼児97人(5.4%)、少年69人(3.8%)、成人687人(38.2%)、老人945人(52.5%)となっています。搬送人員の程度別状況は、死亡31人(1.7%)、重症191人(10.6%)、中等症789人(43.8%)、軽症789人(43.8%)となっています。

		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
新生児	死亡	0											
	重症	1											1
	中等症	1											1
	軽症	0											
	小計	2											2
乳幼児	死亡	3				1						2	
	重症	2										1	1
	中等症	34							2			11	21
	軽症	58				5			17			30	6
	小計	97				6			19			44	28
少年	死亡	0											
	重症	1				1							
	中等症	10				1			3			1	5
	軽症	58				12		11	12			20	3
	小計	69				14		11	15			21	8
成人	死亡	5				1					1	3	
	重症	44	2			4	3		2		4	19	10
	中等症	261	1			21	12	6	24		7	114	76
	軽症	377				72	6	18	50	2	3	213	13
	小計	687	3			98	21	24	76	2	15	349	99
老人	死亡	23					1		2		2	18	
	重症	143				5			15		1	80	42
	中等症	483				8			58			278	139
	軽症	296				20	2		58			194	22
	小計	945				33	3		133		3	570	203
総合計	死亡	31				2	1		2		3	23	
	重症	191	2			10	3		17		5	100	54
	中等症	789	1			30	12	6	87		7	404	242
	軽症	789				109	8	29	137	2	3	457	44
	合計	1,800	3			151	24	35	243	2	18	984	340

※年齢区分の新生児は生後28日未満、乳幼児は生後28日以上7歳未満、少年は7歳以上18歳未満、成人は18歳以上65歳未満、老人は65歳以上です

## 住所別の搬送人員状況

市内に住所を有するものは1,340人、市外に住所を有するものは459人です。また、その他の1人は外国人旅行者または住所不明の者です。

	急病	交通	一般	その他	合計
市内に住所を有するもの	833	81	184	242	1,340
市外に住所を有するもの	151	70	59	179	459
その他				1	1
計	984	151	243	422	1,800

## 収容医療機関別の搬送人員状況

収容医療機関は、市内医療機関594人、市外医療機関1,206人を搬送しています。(表10-1)  
搬送医療機関(開設者別)は、私的病院が721件で最多、次に公的病院383件となっています。(表10-2)  
(表10-1)

	急病	交通	一般	その他	合計
市内医療機関等	392	45	81	76	594
市外医療機関等	592	106	162	346	1,206
計	984	151	243	422	1,800

(表10-2)

	急病	交通	一般	その他	合計
国立病院	72	9	7	37	125
公立病院	170	24	32	91	317
公的病院	241	26	54	62	383
私的病院	329	61	116	215	721
私的診療所	165	28	30	7	230
その他	7	3	4	10	24
計	984	151	243	422	1,800

## 病院収容所要時間の状況

病院収容所要時間(119番通報から医師引継までに要した時間)の搬送人員は、30分から60分未満が最多で1,274人(70.1%)、次に20分から30分未満が316人です。平均病院収容所要時間は、41分03秒となり前年に比べ1分03秒の増加となっています。(病院収容時間≠医師引継時間)

	搬送人員
10分未満	
10～20分未満	26
20～30分未満	316
30～60分未満	1,274
60～120分未満	181
120分以上	3

## 急病にかかる搬送人員の状況

急病の搬送人員は984人で、内訳をWHOの国際疾病分類(ICD10)の項目別にみると、呼吸器系100人(10.2%)、続いて脳疾患93人(9.5%)、心疾患の91人(9.2%)の順になっています。(その他、不明確を除く)

	合計	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	不明確
		脳疾患	心疾患								
死亡	23	1	6		1				3		12
重症	100	23	19	7	14		3		8	5	21
中等症	404	55	38	41	55	5	24	5	13	43	125
軽症	457	14	28	32	30	51	38	14	5	49	196
合計	984	93	91	80	100	56	65	19	29	97	354

## 救急隊員の行った応急処置の状況

搬送人員のうち、救急隊員が応急処置等を行った傷病者は1,800人(100%)、救急隊による応急処置等を行った総件数は8,583件でした。

	急病	交通	一般	その他	合計
応急処置人員	984	151	243	422	1,800
止血	7	20	47	12	86
固定	4	75	38	28	145
人工呼吸	6			2	8
心マッサージ					0
うち自動					0
心肺蘇生	37	2	6	5	50
うち自動	16		2		18
酸素吸入	298	26	18	139	481
気道確保	43	5	5	8	61
経鼻エアウェイ等	3		1	1	5
喉頭鏡、鉗子等	1		2		3
ラリングアルマスク等	20	2		4	26
気管挿管			2		2
保温	645	83	152	272	1,152
被覆	5	36	66	19	126
在宅療法継続	4		1	2	7
除細動	4				4
静脈路確保	10		1	1	12
薬剤投与	4		2		6
血圧測定	926	142	228	396	1,692
聴診器による心音等聴取	338	46	35	99	518
血中酸素飽和度の測定	949	148	237	413	1,747
心電図	616	52	50	159	877
その他	900	115	206	390	1,611
合計	4,796	750	1,092	1,945	8,583

## 心肺停止傷病者の状況及び救急救命士活動状況

### (1) 心肺停止傷病者（以下CPA）に対する心肺蘇生（以下CPR）実施状況

		急病	交通	一般	その他	合計
CPA 総数		51	2	6	11	70
CPR 対象傷病者数		37	2	6	5	50
心肺停止時期	救急隊員が確認	5	1	1		7
	市民等により目撃	8	1	3		12
	目撃者なし	24		2	5	31
医師初診時の傷病者程度	死亡	23	2	2	4	31
	重症	14		3	1	18
	中等症			1		1
1週間後の生存者数		4		1		5
1ヶ月後の生存者数		4		1		5

### (2) バイスタンダー実施状況

		急病	交通	一般	その他	合計
CPR 対象傷病者数		37	2	6	5	50
通報時口頭指導	あり	32	1	5	4	42
	なし	5	1	1	1	8
バイスタンダー処置内容	CPR	2	1	2		5
	胸骨圧迫	21		2	3	26
	AED	1				1

### (3) 救急救命士運用状況

	本署	茶畑	須山	合計
署・所別出動件数	942	724	281	1,947
救急救命士搭乗隊出動件数	924	651	194	1,769
救命士搭乗率	98.1%	89.9%	69.0%	90.9%

### (4) 救急救命実施状況

		急病	交通	一般	その他	合計
CPR 総数		37	2	6	5	50
救急救命士搭乗隊 CPR 対象者数		37	2	6	5	50
特定行為実施者数		24	2	3	4	33
特定行為実施数	気道確保	20	2	2	4	28
	除細動	4				4
	輸液	10		1	1	12
	薬剤投与	4		2		6
初診時程度	死亡	23	2	2	4	31
	重症	14		3	1	18
	中等症			1		1

### (5) CPR 対象者収容医療機関状況

	裾野赤十字病院	沼津市立病院	県立がんセンター	順天堂静岡 (へり搬送含む)	西島病院	その他	合計
収容者数	25	9	3	5	1	7	50
特定行為指示数	32	12		3		2	49

## ドクターヘリ要請状況

東部地域で順天堂大学医学部附属静岡病院を基幹病院として救急医療用ヘリコプター（以下ドクターヘリ）が運航されており、本市においても救命のため有効活用しています。平成26年中にドクターヘリを要請した件数は28件、28人の傷病者に対し医師による現場救命医療が行われました。

		急病	交通	一般	労働災害	その他	合計
平成25年	要請件数	10	3	5	4	2	24
	搬送人員	10	3	5	4	2	24
平成26年	要請件数	8	3	6	6	5	28
	搬送人員	8	4	6	6	4	28

## 応急手当普及啓発活動状況

平成26年の応急手当普及啓発活動は、普通救命講習Ⅰは16回開催し289人が受講、普通救命講習Ⅲは2回開催し32人が受講、上級救命講習は1回開催し6人が受講、救命入門コースは19回開催し793人が受講しました。

平成6年から開始された講習も現在までに延べ5,508人が受講しています。

裾野市防火協会の協力により応急手当普及員講習を実施し13人の普及員を養成しました。各事業所の普及員による普通救命講習は26回実施され、延べ224人が受講しました。

	普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		救命入門コース		普及員講習	
	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人数	回数	受講人員	回数
平成6年 ～ 平成22年	4,309	244			743	42			36	3
平成23年	369	19			12	1			4	1
平成24年	338	17	58	2	16	1	482	15	29	2
平成25年	203	11	32	2	13	1	657	15	9	1
平成26年	289	16	32	2	6	1	793	19	13	1
合計	5,508	307	122	6	790	46	1,932	49	91	8

※市内中学校2年生対象の救急教室は救命入門コースとして実施した。



## 6 救助統計



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 奨励賞

撮影者： 鈴木 常雄 氏

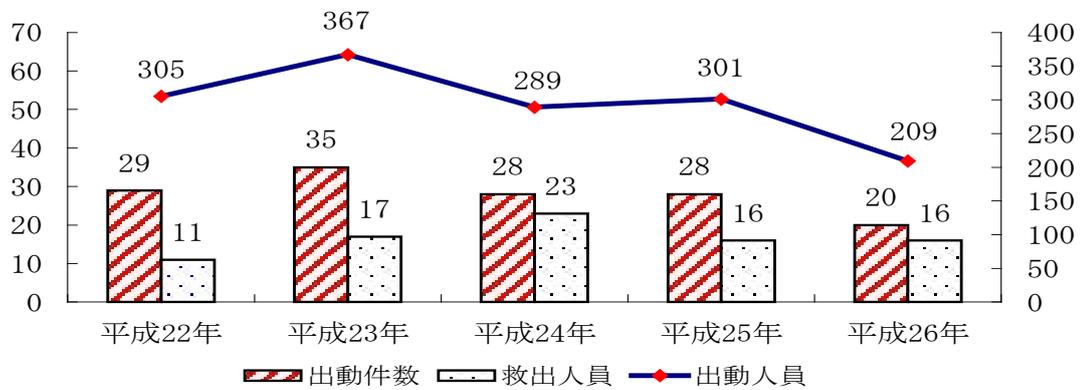
# 救助業務概要

(平成26年)

種別 月別		合計	火災		交通事故		水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故
			建物	建物以外	東名高速	その他							
合計	出動件数	20			3	8				2			7
	活動件数	15			1	5				2			7
	救出人員	16			1	6				2			7
1	出動件数	1			1								
	活動件数												
	救出人員												
2	出動件数	1			1								
	活動件数	1			1								
	救出人員	1			1								
3	出動件数												
	活動件数												
	救出人員												
4	出動件数												
	活動件数												
	救出人員												
5	出動件数	3				1							2
	活動件数	3				1							2
	救出人員	3				1							2
6	出動件数	2								1			1
	活動件数	2								1			1
	救出人員	2								1			1
7	出動件数	1				1							
	活動件数	1				1							
	救出人員	1				1							
8	出動件数	1				1							
	活動件数												
	救出人員												
9	出動件数	6			1	2				1			2
	活動件数	4				1				1			2
	救出人員	5				2				1			2
10	出動件数	2				1							1
	活動件数	1											1
	救出人員	1											1
11	出動件数												
	活動件数												
	救出人員												
12	出動件数	3				2							1
	活動件数	3				2							1
	救出人員	3				2							1

## 救助事案発生の推移

区分	年別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
	出動件数		29	35	28	28
活動件数		11	17	14	18	15
救助者数		11	17	23	16	16
出動人員		305	367	289	301	209



## 東名高速道路における活動の推移

年別 区分	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
	上り	下り								
出動件数	1	3	2				2		1	2
活動件数	1	1	2				1		1	
出動台数	3	9	8				7		3	6
救助者数	2	1	2				1		1	

救助活動のための機械器具等保有状況

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

区分	機械器具名	数量	区分	機械器具名	数量
一般救助用器具	かぎ付はしご	1	呼吸保護用器具	防塵マスク	69
	三連はしご	7		送排風機	2
	金属製折りたたみ梯子 又はワイヤー梯子	1	隊員保護用器具	エアラインマスク	0
	空気式救助マット	0		耐電手袋	8
	救命索発射銃	3		耐電衣	0
	サバイバースリング又は 救助用縛帯	3		耐電ズボン	0
	平担架	1		耐電長靴	0
				防毒衣	0
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	隊員保護用器具	防塵メガネ	71
	油圧スプレッダー	1		携帯警報機	4
	可般ウィンチ	3		防毒マスク	21
	マンホール救助器具	1		化学防護服 (陽圧式化学防護服除く)	0
	救助用簡易起重機	0		耐熱服	2
	マット型空気ジャッキ	1		放射線防護服	0
	大型油圧スプレッダー	1		陽圧式化学防護服	0
	救助用支柱器具	0		特殊ヘルメット	0
	チェーンブロック	0		水難救助用器具	潜水器具
切断用器具	油圧切断機	1	救命胴衣		12
	エンジンカッター	9	救命浮環		2
	ガス溶断器	2	浮標		0
	チェーンソー	8	救命ボート		2
	鉄線カッター	4	船外機		0
	空気鋸	1	水中スクーター		0
	大型油圧切断機	1	水中無線機		0
	空気切断機	1	水中時計		0
コンクリート・ 鉄筋切用チェーンソー	0	水中テレビカメラ	0		
破壊用器具	万能斧	12	山岳救助用器具	登山器具	0
	ハンマー	40	検索救助用器具	バスケット型担架	3
	携帯用 コンクリート破壊器具	0	除染用器具	簡易画像探索機	1
	削岩機	0		除染シャワー	0
	ハンマドリル	1	その他の救助用器具	除染剤散布器	0
	検知・測定用器具	生物剤検知器		0	投光器
可燃性ガス測定器		5		携帯投光器	7
有毒ガス測定器		4		携帯拡声器	10
酸素濃度測定器		5		携帯無線機	24
放射線測定器		2		応急処置用セット	4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	32		車両移動器具	0
	空気補充用ボンベ	0		緩降機	0
	酸素呼吸器	0		ロープ登降機	0
	簡易呼吸器	0	救助用降下機	0	
			発電機	15	



## 7 通信・気象統計



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 奨励賞

撮影者： 塩川 琢也 氏

## 消防指令センター受信状況

当市では平成 15 年度より沼津市、三島市、裾野市、長泉町及び清水町消防通信指令施設（消防指令センター）において、119 番通報等の緊急通報を受信及び各種指令業務を実施しており、本統計は裾野市分のみを記載しています。

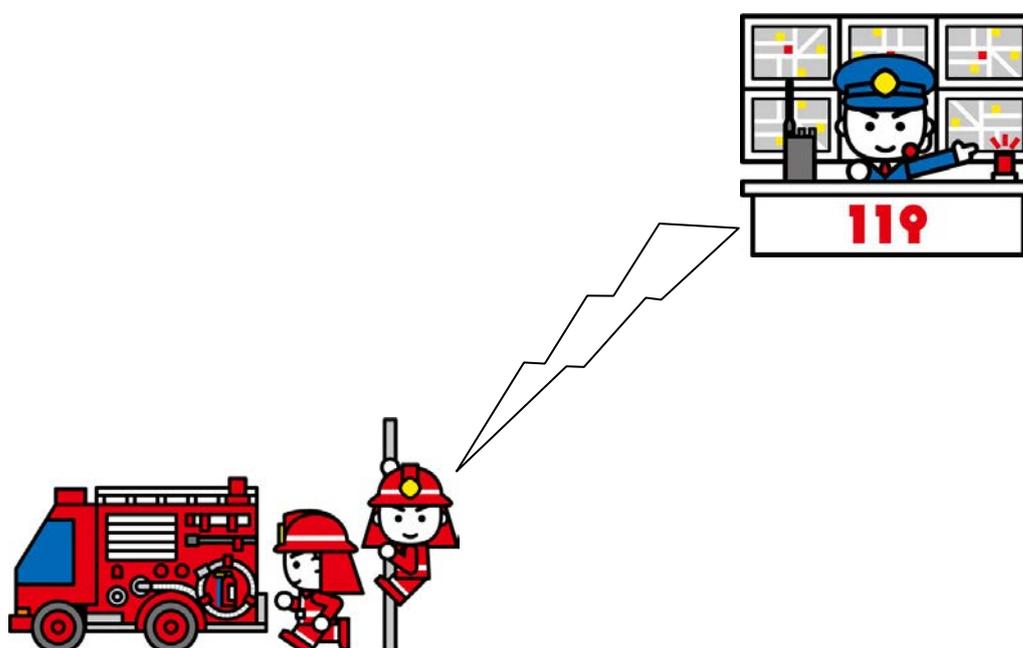
（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	119 番受信			携帯 119 番	加入 電話	I P 電話	専用 電話※1	その他 ※2	合計
	119 番	緊急通報	F A X						
火 災				13	4	1			18
救 急	705	11		545	23	652	6	10	1,952
救 助	1			15	3	3	5		27
他の災害	5	8		21	29	8		18	89
問い合わせ	34	2		98		47			181
まちがい等	62	41		55		36			194
訓 練 他	102	37				19			158
小 計	909	99	0						
合 計	1,008			747	59	766	11	28	2,619

消防指令センターは沼津市吉田町（沼津市本部南消防署内）にあります。

※1 専用電話欄は、警察・東名高速・静岡ガス等専用線で結ばれている機関からの通報を合算

※2 その他の欄は自己覚知、駆け付け、その他の通報を合算したもの。



# 月別気象情報統計表

[静岡地方気象台発表] (平成 26 年)

区分 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
警 報	大雨							2	1	1	2		
	洪水							1	1	1	2		
	暴風										2		
	その他		1										
注 意 報	強風	3	2	1	1			3			3	1	5
	大雨				1	5	7	8	9	7	5	1	
	洪水				1	3	4	7	8	7	5	1	
	雷	4	3	2	6	8	13	20	16	8	6	4	5
	濃霧	3	3		1	8	3	14	9	1	1	4	1
	雪崩		7	1	2	5							
	高潮												
	霜			9	15	1							
	大雪	1	3										
	乾燥												1
	波浪												
	その他	6	8			1							
情 報 等	火災気象通報	21	14	12	11	9	4			1		1	26
	台風							13	11		27		
	大雨に関する			14	7	2	4	3	3	9	22		
	強風に関する		17					7			6	2	7
	低気圧に関する		1							1			
	雷雨に関する	2				1	1	3	5	1			1
	地震に関する	2	5	28	32	10	18	21	13	13	11	8	12
	大雪に関する		17										
	梅雨に関する						1	1					
	その他	2	7	3	12	4	6	14	22	1	16	17	3

# 月別気象状況統計表

〔裾野市消防本部観測〕 (平成 26 年)

区 分		累計・ 平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
9 時 の 概 況	晴	180	18	7	17	19	20	15	13	7	12	11	16	25
	曇	122	9	14	7	5	8	9	14	19	14	14	8	1
	雨又は雪	63	4	7	7	6	3	6	4	5	4	6	6	5
積算雨量 (mm)		1543.0	21.5	106.0	217.5	135.0	117.5	84.0	95.0	111.0	156.5	329.5	52.5	117.0
気 圧	最高 (hPa)	1008.5	1005.9	1007.7	1007.0	1007.2	1002.3	994.0	996.4	995.7	1001.1	1006.4	1005.5	1008.5
	最低 (hPa)	957.6	977.8	997.5	966.6	970.1	972.2	971.5	969.1	976.8	980.2	957.6	979.5	970.2
風 速	最大 (m/s)	31.3	22.8	16.6	28.2	20.5	23.0	18.3	24.0	21.7	15.1	31.3	20.5	26.1
	平均 (m/s)	3.5	3.6	3.8	3.9	3.5	3.5	3.3	2.7	3.8	3.1	3.4	3.6	3.9
湿 度	最低 (%)	12.3	13.1	13.6	12.3	19.4	18.7	38.0	42.3	50.1	30.6	45.1	36.4	18.8.
	平均 (%)	79.8	69.5	76.2	75.2	74.9	79.2	83.6	86.7	92.3	81.6	83.7	81.5	73.2
実 効 湿 度	最高 (%)	95.8	81.7	85.2	85.5	88.4	89.4	87.3	91.2	95.8	90.0	88.9	91.5	91.0
	最低 (%)	58.0	62.3	67.6	58.0	60.9	66.3	78.2	77.5	82.6	71.9	76.1	73.8	64.8
	平均 (%)	79.8	69.5	75.5	75.2	74.4	78.9	83.8	87.1	91.7	82.5	83.0	81.2	74.2
気 温	最高 (℃)	33.4	16.3	18.0	19.2	22.4	27.3	29.3	33.4	30.4	31.1	27.9	22.5	16.7
	最低 (℃)	-2.8	-2.3	-1.4	-2.8	1.3	9.5	15.9	18.4	19.3	13.2	9.3	3.6	-2.8
	平均 (℃)	14.8	5.2	5.2	8.4	12.4	17.4	21.3	24.5	24.8	21.5	17.5	13.1	5.9
最多風向		北	北	北	北	南南西	北北西	北	南南西	南南西	北北東	北	南西	南南西

## 降雨状況

時間雨量 20 mm以上

〔 裾野市消防本部観測 〕 (平成 26 年)

	月 日	時 間	雨 量	気 象 情 報 等
1	3月30日	11:00~12:00	20.2mm	大雨、洪水、雪崩、強風、雷注意報

1日総雨量 50 mm以上

〔 裾野市消防本部観測 〕 (平成 26 年)

	月 日	雨 量	気 象 情 報 等
1	3月30日	66 mm	大雨、洪水、雪崩、強風、雷注意報
2	4月30日	51 mm	大雨、洪水注意報
3	9月25日	63 mm	大雨、洪水、雷注意報



## 8 消防団



平成 27 年消防出初式 写真コンテスト 消防団長賞

撮影者： 杉本 武満 氏

## 分団別管轄区域・人口・世帯・団員数

(平成 27 年 4 月 1 日)

名称	所在地	管轄区域	人口	世帯数	団員数
団本部	石脇 515	市内全域	53,078	21,291	34
東分団	平松 531-2 茶畑 593-11	平松・麦塚・久根・公文名 稲荷・茶畑	15,110	6,112	52
西分団	佐野 1438-4 伊豆島田 839-2	佐野・石脇・大畑・富沢・桃園 二ツ屋・水窪・伊豆島田	15,167	6,213	46
深良分団	深良 659-3	深良・岩波	5,761	2,225	30
富岡分団	御宿 614-1 今里 806 下和田 1036-3	御宿・千福・上ヶ田・葛山 金沢・今里・下和田・呼子 千福が丘	14,583	5,758	48
須山分団	須山 572-8	須山	2,459	984	30

## 階級別団員数

(平成 27 年 4 月 1 日)

	団長	副団長	本部長	本部部長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計		条例・規則
団本部	1	2	1	10						14	34	34
							1	4	15	20		
東分団					1	1	1	4	19	26	52	52
						1	1	4	20	26		
西分団					1	1	1	4	21	28	46	46
							1	2	15	18		
深良分団					1	1	1	4	23	30		30
富岡分団					1	1	1	4	19	26	48	48
							1	1	6	8		
							1	2	11	14		
須山分団					1	1	1	4	23	30		30
計	1	2	1	10	5	6	10	33	172	240		240

## 消防団員階級別年齢

(平成 27 年 4 月 1 日)

階級 年齢	合計	団長	副団長	分団長 (本部長含)	副分団長	部長	班長	団員
20 歳未満	1							1
20 歳～24 歳	28						1	27
25 歳～29 歳	78					1	4	73
30 歳～34 歳	83			1	3	5	20	54
35 歳～39 歳	26			1	2	3	5	15
40 歳～44 歳	8			3	1	1	2	1
45 歳～49 歳	4			4				
50 歳～54 歳	1			1				
55 歳～59 歳	6			5			1	
60 歳以上	5	1	2	1				1
合計	240	1	2	16	6	10	33	172

## 消防団員階級別勤続年数

(平成 27 年 4 月 1 日)

階級 勤続年数	合計	本部	東分団 平松	東分団 茶畑	西分団	深良 分団	富岡 分団	須山 分団
5 年未満	129	12	14	16	21	20	26	20
5 年以上 10 年未満	72	6	7	9	16	9	16	9
10 年以上 15 年未満	23	2	4	2	8	1	5	1
15 年以上 20 年未満	8	6			1		1	
20 年以上 25 年未満	3	3						
25 年以上 30 年未満	1	1						
30 年以上	4	4						
合計	240	34	25	27	46	30	48	30

## 機械器具配置

(平成 27 年 4 月 1 日)

	種 別	車種名	年式	級式	登録番号		
東分団 平松	普通消防車	いすゞ	H. 26	A2	富士山	803 さ	1771
	可搬式動力ポンプ		H. 26	C1			
東分団 茶畑	普通消防車	日野	H. 19	A2	沼 津	800 す	1053
	可搬式動力ポンプ		H. 19	C1			
西分団	普通消防車	日野	H. 11	A2	沼 津	800 さ	2300
	可搬式動力ポンプ		H. 11	C1			
小南班	可搬ポンプ積載車	いすゞ	H. 26	B3	富士山	803 さ	1775
深良分団	普通消防車	日野	H. 14	A2	沼 津	800 さ	5581
	可搬式動力ポンプ		H. 14	C1			
富岡分団	普通消防車	日野	H. 20	A2	沼 津	800 す	1588
	可搬式動力ポンプ		H. 20	C1			
今里班	可搬ポンプ積載車	トヨタ	H. 10	B3	沼 津	800 さ	494
下和田班	可搬ポンプ積載車	いすゞ	H. 26	B3	富士山	803 さ	1537
須山分団	普通消防車	日野	H. 24	A2	沼 津	803 さ	1066
	可搬式動力ポンプ		H. 24	C1			
団本部	普通車	トヨタ	H. 12		沼 津	800 さ	2767
	自動二輪車	ヤマハ	H. 19		1 沼津	せ	1225
	自動二輪車	ヤマハ	H. 19		1 沼津	せ	1226
	自動二輪車	ヤマハ	H. 19		1 沼津	せ	1227
女性消防	軽自動車	三菱	H. 11		沼 津	80 あ	787
	可搬式動力ポンプ		H. 11	C1			

### 各分団詰所

- ・可搬式ウインチ・ハンマー・反射ベスト ・ライフジャケット・チェーンソー
- ・林野火災消火背囊・救急箱・金てこ・土嚢袋・折り畳み担架 (ほか配備)
- ・各分団詰所に災害時連絡用バイク各 1 台 (計 9 台) を配備